令和６年度中学生チャレンジテスト

第３学年

国語

注　意

1　テスト問題は、1ページから29ページまであります。先生の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

2　解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。

3　解答は、ＨＢまたはＢの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、**濃く、はっきり**と書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。

4　解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。

5　解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。
また、解答欄から**はみ出さないよう**に書いてください。

6　解答用紙は、オモテ、ウラがあります。

7　解答用紙の〔生徒記入欄〕に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。

8　テスト実施時間は、45分です。

問題は、次のページから始まります。

一　次の**1**～**5**の問いに答えなさい。

1　書写の時間に「夢」という字を次のように行書で書きました。あとの**ア**～**エ**のうち、この字の特徴（とくちょう）として**あてはまらないもの**を一つ選びなさい。

ア　点画に丸みがある。
イ　筆順が変化している。
ウ　点画が連続している。
エ　点画が省略されている。

2 次の①～③の文中の――線部の漢字の正しい読みを、**ひらがな**でていねいに書きなさい。

① 勇気を**奮**って立ち向かう。

② **曖昧**な返事をする。

③ 研究に**没頭**する。

3 次の①～③の文中の――線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書（かいしょ）でていねいに書きなさい。

① 水が**イキオ**いよく流れ出る。

② 地中海**エンガン**の国々をめぐる。

③ 消防署で**キュウキュウ**車を見かける。

4 次の文中の――線部と文法上同じ意味・用法のものを、あとの**ア**～**エ**から一つ選びなさい。

ニュースによると、次の列車は遅れるそうだ。

ア いつ会っても、彼は元気そうだ。

イ 今すぐ出発すれば、間に合いそうだ。

ウ 兄に聞いたところ、弟もいっしょに行くそうだ。

エ 空を見上げると、今にも雨が降りそうだ。

5 次の**ア**～**エ**のうち、返り点にしたがって読むと「既(すで)に之(これ)を得(う)れば、之を失(うしな)はんことを患(うれ)ふ。」の読み方になる漢文はどれですか。一つ選びなさい。

ア
既(レ・ニ)
得(レ・バ)
之(ヲ)、
患(レ・フ)
失(レ・ハンコトヲ)
之(ヲ)。

イ
既(ニ)
得(レ・バ)
之(ヲ)、
患(二・フ)
失(ハンコトヲ)
之(一・ヲ)。

ウ
既(レ・ニ)
得(レ・バ)
之(ヲ)、
患(二・フ)
失(ハンコトヲ)
之(一・ヲ)。

エ
既(ニ)
得(レ・レバ)
之(ヲ)、
患(レ・フ)
失(レ・ハンコトヲ)
之(ヲ)。

二　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

（長谷川英祐（はせがわえいすけ）『働くアリに幸せを』による）

1 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の［　**A**　］、［　**B**　］に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選びなさい。

	A		B
ア	たとえば	―	ところが
イ	たとえば	―	すなわち
ウ	なぜなら	―	ところが
エ	なぜなら	―	すなわち

2 本文中に――線部①とありますが、ハチは、具体的にどのように行動しますか。その内容についてまとめた次の文中の［　　］に当てはまる言葉を本文中から**二十一字**で探し、初めの**四字**をぬき出しなさい。

ハチは、待ち時間を判断の基準に使って、［　　］へと移動する。

3 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の――線部②の言葉の意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 能率がよくむだがないさま。
イ そのときの思いつきで行動するさま。
ウ 物事が一定のきまりに従っているさま。
エ 形ばかりを重んじて内容がないさま。

4 次の**ア**～**カ**のうち、本文中の［　Ⅰ　］、［　Ⅱ　］に入る言葉の組み合わせとして最も適しているものを一つ選びなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

5 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の――線部③の文の役割として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 前の段落の内容について、ここまでの話の内容をまとめる役割。

イ 前の段落の内容を受けて、次の段落へと話題をつなげていく役割。

ウ 前の段落の内容に関係なく、次の段落に話題を変える役割。

エ 前の段落の内容に対して、ここまでの話の内容に反論する役割。

6 次の**ア**～**エ**のうち、本文の内容に合うものとして最も適しているものを一つ選びなさい。

ア アリやハチなどは複雑な社会を作り、あるアシナガバチの社会では、巣の材料を取りにいく働きバチや巣を作る働きバチのようにそれぞれのハチの仕事が常に固定されている。

イ ハチの各個体が、自分の得た局所的な情報に応じて仕事の割り振りをうまく行うためには、全体の仕事の進行状況を把握（はあく）して判断したり指示をしたりする個体が欠かせない。

ウ 集団全体の維持（いじ）運営が個体の利益につながることは「自己組織化」と呼ばれており、生き物の集団が高度な行動をとるための代表的なしくみであると考えられている。

エ イモムシがフェロモンを生産する例は、集団で行動する場合に各自がコストを払（はら）って集団行動の利益を享受するという「協力のコスト」のあり方をよく表している。

三　秋原さんの学級では、将来の夢について考え、調べたことをもとに新聞をつくることになりました。次は、農業に関心のある秋原さんが、農業について調べたり農家の人にインタビューをしたりして書いた【新聞の下書き】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【新聞の下書き】

★輝け農業新聞

令和６年（2024）７月〇日
秋原みのり

考えよう！ これからの農業

私は、将来農業をしたいと考えている。農業について調べるうちに、農業には従事する人の高齢化などの課題があることがわかってきた。そんな中、私たちが住む青川町には農業を始める人を支援する制度があり、その制度を利用してトマト農家を始めた竹井光さん（34歳）という人がいることを知った。そこで、新たに農業を始めた人の思いを知るために、竹井さんを取材することにした。

トマトを収穫する竹井さん。自分の作ったトマトを「おいしい」と言ってもらう瞬間がなによりの幸せだと語る。（７月〇日撮影）

青川町で農業を始めた竹井さんのお話

真っ赤なトマトを手にして私を迎える竹井さんの笑顔は輝いていた。竹井さんは、会社員として働いていたが、「いつかは農業をしたい」という夢を捨てきれなかった。農業に関する情報を集める中で、青川町が、農業をしたいと考える人たちに対して支援をしていることを知った。竹井さんは五年前に青川町に引っ越し、野菜の生産や経営の方法などを二年間学んだ。その後、竹井さんは青川町の土地を借り、日本一おいしいトマトづくりをめざして、今日も元気にトマトづくりに励んでいる。

夢をかなえることができてうれしいです。青川町に来るまで、農業は未経験だったので不安がありましたが、町の人たちはこころよく受け入れてくれました。さらに、町の人たちの、

あ

という思いにふれて、町にもっと貢献をしたいと考えるようになりました。これからも自分で作ったもので誰かを幸せにできることに、やりがいと誇りをもって取り組んでいきたいです。

竹井さん

日本の農業の課題と未来

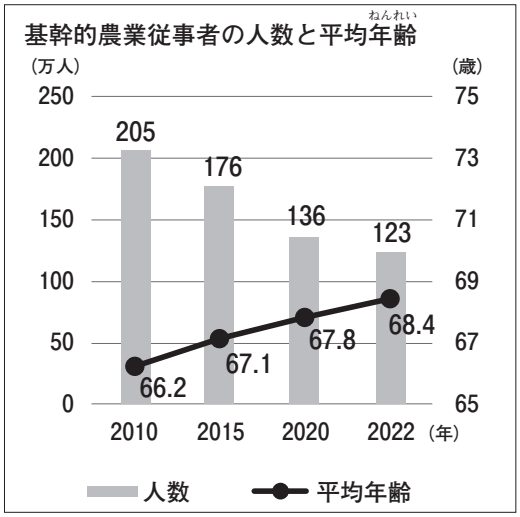
農業に従事する人の高齢化

農業に従事する人の中で、基幹的農業従事者（ふだんの仕事として農業をしている人）の数と年齢について調べてみた。**【資料1】**によると、二〇一〇年以降、

い

ことがわかる。二〇二二年の基幹的農業従事者の平均年齢は、六八・四歳である。

【資料1】

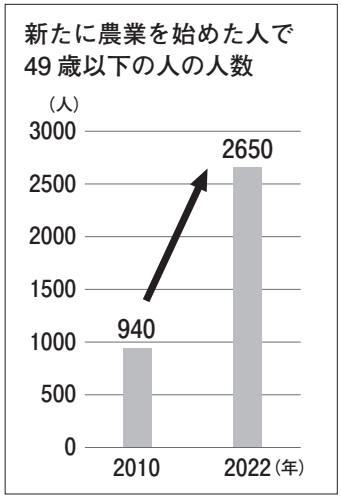


（農林水産省の資料により作成）

新しく農業に挑戦する人たち

一方、新たに農業を始める人への支援体制を整える自治体が全国に広がっており、竹井さんのように、農業を始める人もいる。**【資料2】**の二〇一〇年と二〇二二年を比べると、新たに農業を始めた人で四九歳以下の人の数が増えていることがわかる。

【資料2】



（農林水産省の資料により作成）

進化する農業

農作業に、ロボットやＩＣＴ（情報通信技術）を使う「スマート農業」の技術開発や実用化が①進められています。「スマート農業」によって農作業の効率が上がったり、多く収穫できたりして、高齢者や農業を始めたばかりの人なども含めて、より多くの人が働きやすくなるといわれている。

う

青川町では、住民の高齢化が進み、農家の数が減少する中で、町の活性化にどのように取り組むかということが課題でした。農業を始める人への支援を始めてから、竹井さんのような人が増え、町は活気づいてきました。新しく町に引っ越してきた方たちと以前から住んでいた方たちとの交流も進み、うれしいです。引き続き青川町は農業を始める人を支援しながら、町の活性化に努めていきます。

青川町農業支援課　山田真（やまだまこと）さん

編集後記

今回、竹井さんへの取材を通して、農業を将来の仕事にしたいという思いがさらに強くなった。今は青川町だけでなくさまざまな市町村で新たに農業を始める人への支援が行われており、竹井さんのように新たに農業を始める人が増えている。農業を取り巻く課題はあるが、「スマート農業」の技術開発や実用化で、より多くの人が働きやすくなっているようだ。私と同世代の人たちにも農業を将来の仕事の選択肢のひとつとして考えてみてほしい。

1 **【新聞の下書き】**中の――線部①の文末を前後の文脈に合わせて、ふさわしい表現に直して書きなさい。

2 秋原さんは、**【新聞の下書き】**中の［**あ**］に入れる内容について、竹井さんにインタビューした内容をまとめたノートを見返しながら、記事をつくっています。あなたが秋原さんならどのように書きますか。次の**【ノートの一部】**の内容をもとに書きなさい。ただし、前後の文脈に合わせて、**三十字以上、五十字以内**で書くこと。

【ノートの一部】

質問　青川町に引っ越してきたころは、どのようなお気持ちでしたか。

↓回答　農業は未経験だったので不安だった。

質問　青川町の人たちはどのように接してくれましたか。

↓回答　こころよく私を受け入れてくれた。

質問　青川町の人たちから何を感じましたか。

↓回答　新たに農業を始める人たち一人ひとりを大切にしたい、新たに農業を始める人たちと協力して農業と町を盛り上げたい、という思いが伝わってきた。

質問　青川町でトマト農家を営んでいる今は、どのようなお気持ちですか。

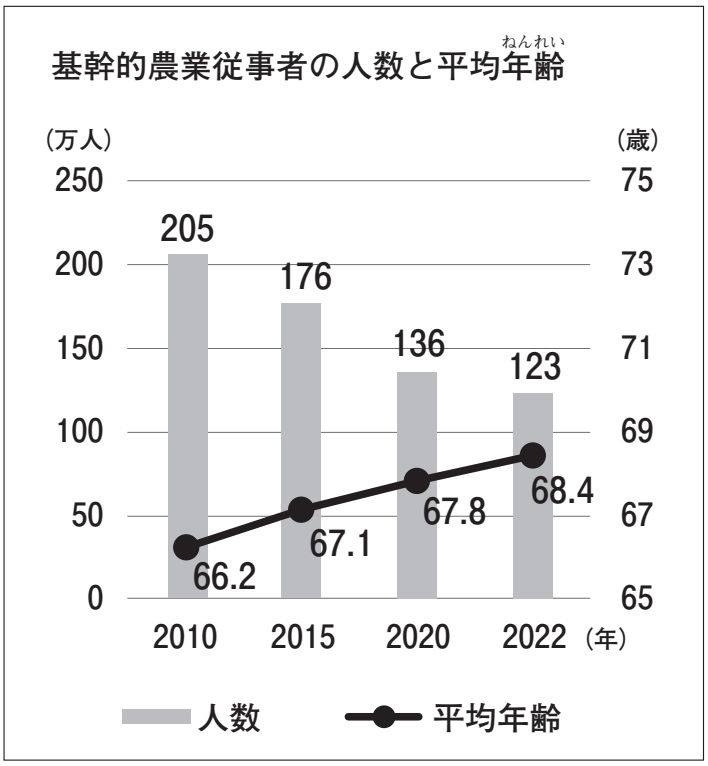
↓回答　自分の夢をかなえることができた。うれしい。

質問　今後はどのように農業に取り組んでいこうと考えていますか。

↓回答　青川町の人たちの思いに応えるためにも、農業を通して青川町に貢献（こうけん）したい。自分で作ったもので誰かを幸せにできることに、やりがいと誇（ほこ）りをもって取り組みたい。

3 **【新聞の下書き】**中の［**い**］には、**【新聞の下書き】**中の**【資料1】**からわかる内容が入ります。［**い**］に入る内容を、あとの条件にしたがって書きなさい。なお、次の**【資料1】**は、**【新聞の下書き】**中の**【資料1】**を拡大したものです。

【資料1】



（農林水産省の資料により作成）

条件1　基幹的農業従事者について、人数の変化と、平均年齢の変化の両方にふれて書くこと。

条件2　前後の文脈に合わせて、**二十字以上、四十字以内**で書くこと。

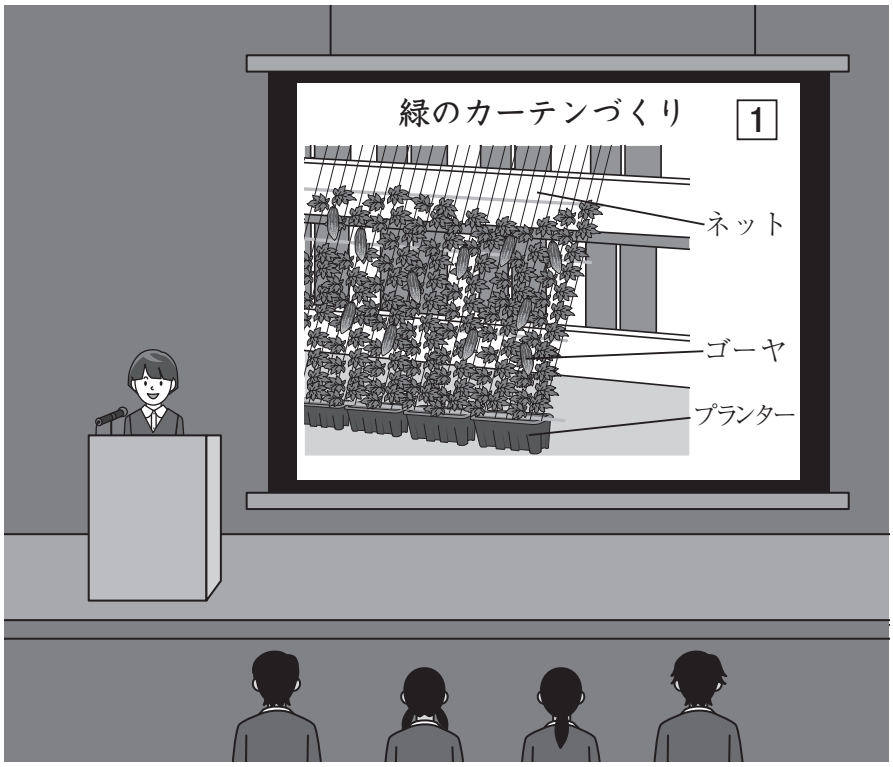
4 次の**ア**～**エ**のうち、**【新聞の下書き】**中の見出し［　う　］に入れる言葉として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 自給自足の青川町生活
イ 農業で青川町を活性化
ウ 青川町で農業を始めるための条件
エ 青川町で日本一のトマトづくり

5 次の**ア**～**エ**のうち、**【新聞の下書き】**中の［　　］に書かれている編集後記の内容について説明したものとして、最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 今回の新聞をつくる上でわかったことと、新聞をつくり終えて感じた、同世代の人に伝えたいことを述べている。
イ 今回の新聞をつくるときの苦労や失敗と、新聞をつくり終えて感じた、自分の将来の仕事に対する思いを述べている。
ウ 今回の新聞をつくるにあたっての問題点と、新聞をつくり終えて感じた、自然と関わることの大切さを述べている。
エ 今回の新聞をつくることにしたきっかけと、新聞をつくり終えて感じた、農業をとりまく環境への不満を述べている。

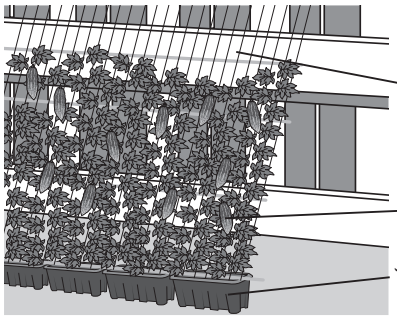
四　梅山市は「緑のカーテンづくり」という活動を進めており、四月から梅山中学校でもこの活動に取り組むことになりました。そこで、生徒会役員の寺島さんは、全校集会で「緑のカーテンづくり」について全校生徒にスピーチをすることになりました。次は、寺島さんが全校集会のリハーサルをしたときに提示した**【資料】**1～4と**【スピーチの原稿】**です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。



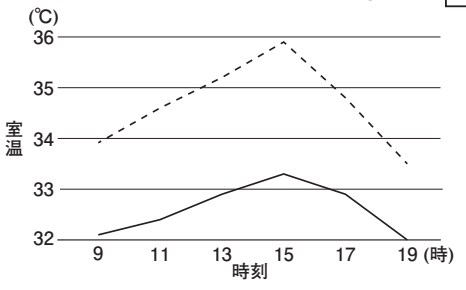
〔リハーサルのイメージ〕

【資料】

緑のカーテンづくり　1



室内における温度の変化　2



（○○研究所のデータにより作成）

【スピーチの原稿】

みなさん、こんにちは。みなさんは、緑のカーテンを知っていますか。【資料】1をみてください。緑のカーテンとは、日差しをさえぎるために、イラストのようなつるを伸ばす植物を育てて、カーテンのような状態にしたもののことです。梅山市では「緑のカーテンづくり」の取り組みが進められています。そこで、私たちの梅山中学校でも「緑のカーテンづくり」に取り組むことにしました。育てる植物は、ゴーヤ、正式にはツルレイシと呼ばれる植物です。ゴーヤは成長が早く、葉が大きいので緑のカーテンを作るのに適しているとされます。今日は、①いろいろとお伝えします。

まず、梅山中学校で「緑のカーテンづくり」に取り組むことにした理由を説明します。その理由は、緑のカーテンに三つの効果が期待できることです。

一つめの効果は、室温の上昇をおさえる効果です。つまり、夏の暑さ対策になるということです。窓や壁（かべ）をおおう葉が強い日差しをさえぎり、熱を吸収することで、室温の上昇をおさえることができるそうです。【資料】2をみてください。こちらは専門家の研究の結果をグラフに表したものです。こちらのグラフからは、緑のカーテンがあると、室温の上昇がおさえられることがわかります。別の研究によると、植物を大きく②成長して、緑のカーテンが窓や壁をおおう面積を広くすれば、室温の上昇をおさえる効果が高くなるそうです。

二つめの効果は、電力の消費量を減らす効果です。つまり、節電になるということです。エアコンは室温と設定温度との差が大きくなるほど電力の消費量も大きくなります。設定温度が同じならば、室温が高い教室ほど多くの電力を消費することになります。緑のカーテンによって、室温の上昇がおさえられ、③省エネにもなります。

三つめの効果は、心理的な効果です。**【資料】** 3 をみてください。これは梅山市役所が、「緑のカーテンづくり」に取り組んだ市民に対して行ったアンケート結果から、回答の多かったものをまとめたものです。こちらの資料で私たちが注目したのは上位二つの回答です。この二つの回答は、

A

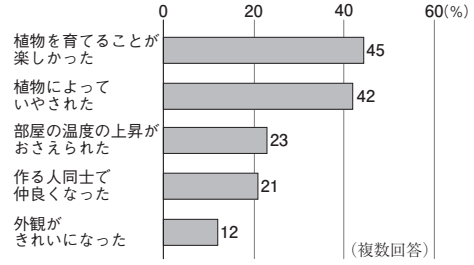
。

この結果から、暑さ対策になるという効果だけでなく、心理的な効果を感じた市民が多かったと考えられます。私たちの学校でも同じような効果を多くの生徒が感じることを期待しています。

以上の三つの効果をふまえて、私たちの中学校でも「緑のカーテンづくり」に取り組むことにしました。

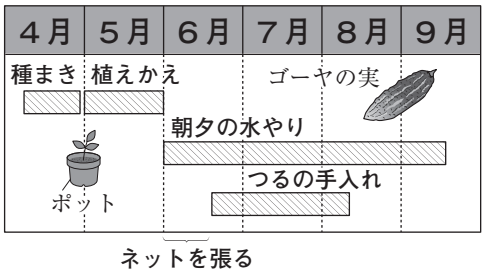
それでは、次に、ゴーヤの栽培（さいばい）スケジュールとみなさんに協力してもらいたい作業について説明します。**【資料】** 4 をみてください。これはゴーヤの栽培スケジュールです。ゴーヤの栽培は、四月中にポットと呼ばれる小さな容器にゴーヤの種をまくことから始まります。〔 **ア** 〕五月には育った苗をプランターと呼ばれるやや大きめの容器に植えかえ、一日に

「緑のカーテンづくり」に取り組んだ市民が感じた効果 3



(梅山市役所が行ったアンケート結果により作成)

ゴーヤの栽培（さいばい）スケジュール 4



一回水を与えます。〔　**イ**　〕ここまでの作業は生徒会だけで行えると考えています。ゴーヤをうまく育てるためには、暑い時期に十分な水を与えることが欠かせません。〔　**ウ**　〕そこで、六月ごろからは、水やりを毎日朝夕に行う必要があります。さらに、つるが伸び始めたら、ネットにつるがからむように巻きつけたり、つるがより伸びるように先端を切ったりすることも必要になります。〔　**エ**　〕みなさん、ご協力をよろしくお願いします。

夏の暑さ対策と節電のために、また、私たちの学校生活の中でより多くの生徒が心理的な効果を感じるために、「緑のカーテンづくり」に生徒全員で取り組んでいきましょう。生徒会からお伝えしたいことは以上です。ありがとうございました。

1 次の**ア**～**エ**のうち、**【スピーチの原稿】**中からわかる、寺島さんのスピーチの工夫(くふう)として**適していないもの**を一つ選びなさい。

ア 聞き手に関心をもたせるために、呼びかけの表現を入れて述べている。

イ 説得力のある内容にするために、自分自身の経験を通して述べている。

ウ わかりやすく説明するために、順序を示す言葉を用いて述べている。

エ 客観的な事実を示すために、資料から得たデータを示して述べている。

2 リハーサルの後で寺島さんは、生徒会役員の前田さんから、――線部①についてアドバイスをもらい、**【書きかえた文】**のように書きかえました。前田さんは、どのようなアドバイスをしたと考えられますか。あとの**ア**～**エ**のうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

【書きかえた文】

「緑のカーテンづくり」に取り組むことにした理由と、ゴーヤの栽培(さいばい)スケジュール、みなさんに協力してもらいたい作業などをお伝えします。

ア　聞き手が話の内容と展開について理解しやすいように、何について説明するのかを具体的に示したほうがよいよ。

イ　聞き手が取り組みのイメージを広げられるように、示す写真や絵についてもっと細かく紹介したほうがよいよ。

ウ　聞き手が今後の取り組みに対してより意欲的になれるように、育てる植物についてもう少し話した方がよいよ。

エ　聞き手が意欲をもって聞きやすくなるように、スピーチの内容を伝える相手が誰かを明確にしたほうがよいよ。

3　寺島さんはリハーサルの際に**【スピーチの原稿】**中の――線部②が誤っていることに気づきました。――線部②を適切な形に書き直しなさい。

4　**【スピーチの原稿】**中の――線部③では、「省エネルギー」という言葉の一部を省略して「省エネ」という表現が用いられています。次の**ア**～**エ**のうち、言葉の一部を省略した表現についての説明として適しているものを**二つ**選びなさい。

ア　丁寧（ていねい）な話し方が必要な改まった場面では、言葉の一部を省略した表現をできるだけ多く用いる方がよい。

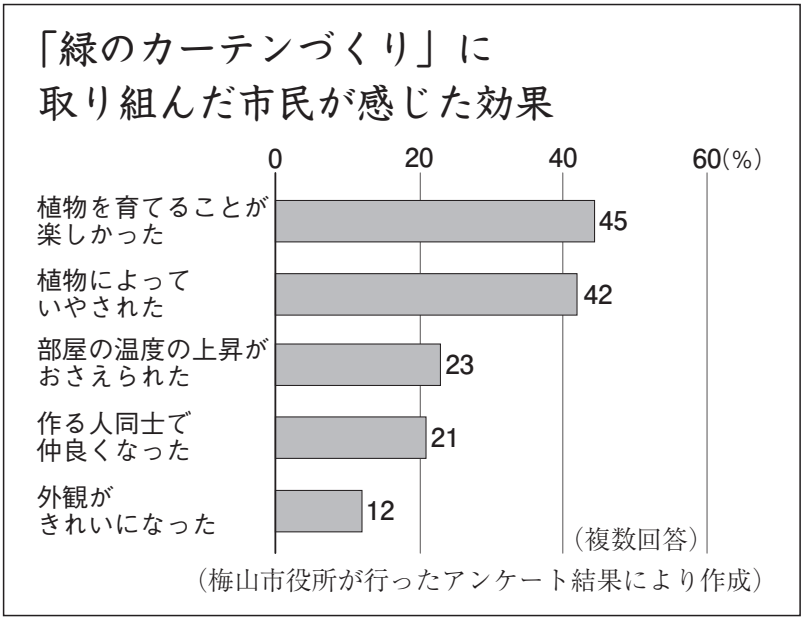
イ　話す人も聞く人も言葉の意味を正しく理解できる場合には、言葉の一部を省略した表現で済むことがある。

ウ　言葉の一部を省略するのが一般的でない表現の場合でも、話す時間を短くするために積極的に用いる方がよい。

エ　省略する前の元の言葉よりも聞く人に明確に伝わるときには、言葉の一部を省略した表現を用いてもよい。

5 寺島さんは**【資料】**3にもとづいて、**【スピーチの原稿】**中の［　A　］の部分を書きました。あなたが寺島さんなら、どのように書きますか。適切な内容をあとの条件にしたがって書きなさい。なお、次の**【資料】**は、**【スピーチの原稿】**中の**【資料】**3を拡大したものです。

【資料】



（梅山市役所が行ったアンケート結果により作成）

条件１　**心理的な効果**という言葉を用いて書くこと。

条件２　**【資料】**からわかることを、数値を用いて具体的に書くこと。

条件３　前後の文脈に合わせて、**三十字以上、五十字以内**で書くこと。

６　リハーサルの後で寺島さんは、生徒会から生徒全員に伝えるべき情報が不足していることに気づき、次の**【追加する文章】**を入れることにしました。**【追加する文章】**は**【スピーチの原稿】**中の〔　**ア**　〕～〔　**エ**　〕のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを一つ選びなさい。

【追加する文章】

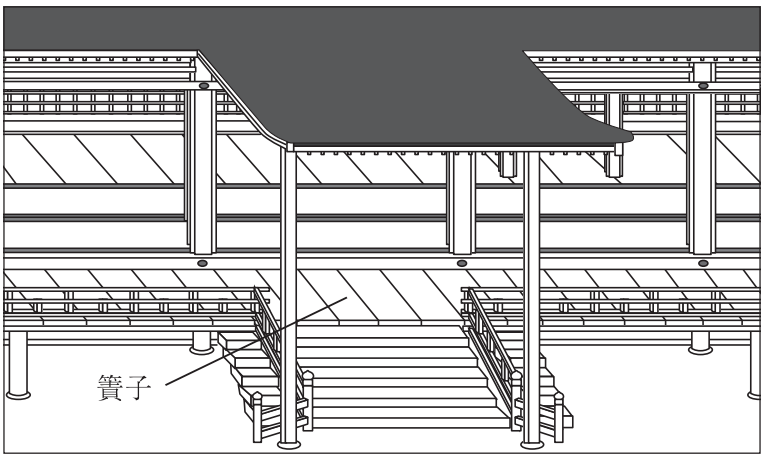
これらの作業を生徒会だけで行うことは難しいので、みなさんに協力してもらいたいと考えています。朝夕の水やりについては、予定表を作成してクラスごとに担当する日を決め、つるの手入れについては、いっしょに取り組んでくれる人を募って行う予定です。

五　次の文章は、平安時代の天皇の一人であった堀河院（ほりかわのいん）が僧（そう）たちを招いて経（きょう）を読む会を行った際の一場面を書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

（『宇治拾遺物語』による）



1 本文中の〰〰線部を現代かなづかいに直して、すべて**ひらがな**で書きなさい。

2 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の――線部①を現代語に直したとき、その意味として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 明遍（みょうせん）は、堀河院（ほりかわのいん）がお吹きになる笛の調子ごとに、自分の声の調子の高さを正しく上げて経（きょう）を読んだので

イ 明遍は、堀河院がお吹きになる笛の調子ごとに、自分の笛の調子の高さを正しく上げて吹いたので

ウ 明遍は、堀河院が経をお読みになる声の調子ごとに、自分の声の調子の高さを正しく上げて経を読んだので

エ 明遍は、堀河院が経をお読みになる声の調子ごとに、自分の笛の調子の高さを正しく上げて吹いたので

3 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の――線部②と――線部③の主語の組み合わせとして最も適しているものを一つ選びなさい。

	②		③
ア	堀河院	―	堀河院
イ	堀河院	―	明遍
ウ	明遍	―	堀河院
エ	明遍	―	明遍

4 本文中の――線部④について、堀河院は**ⓐ誰**の、**ⓑどのようなこと**を「さればこそ」と言ったのですか。ⓐとして最も適しているものを次の**ア**～**エ**から、ⓑとして最も適しているものを次の**オ**～**ク**から、それぞれ一つずつ選びなさい。

ⓐの選択肢

ア 堀河院　**イ** 奈良の僧ども（そう）　**ウ** 明暹　**エ** 八幡別当幸清（やわたのべっとうこうせい）

ⓑの選択肢

オ 経を読むために人を集めること
カ 命令によって縁側にひかえていること
キ 古くから伝わる笛を持っていること
ク 笛を演奏することができること

5 次の**ア**～**エ**のうち、本文中の――線部⑤の行為（こうい）の理由として最も適しているものを一つ選びなさい。

ア 明暹（みょうせん）のような経をうまく読むことができる僧（そう）にみごとな笛を受けついでほしいと堀河院（ほりかわのいん）が思われたから。

イ 堀河院が笛でみごとにお吹きになった万歳楽という曲を聞いて、明暹が感動したと申し上げたから。

ウ 明暹が堀河院のお渡しになった笛で万歳楽という曲をみごとに吹き、堀河院がその演奏に感動されたから。

エ 堀河院がかつて万歳楽という曲をお吹きになったみごとな笛を、明暹がほしいと申し上げたから。